

第54回川崎市介護保険運営協議会 会議録（要約）
第1回川崎市地域包括支援センター運営協議会

1 日時 令和4年7月19日（火）午後2時00分～午後4時00分

2 場所 ソリッドスクエア西館1階 第2会議室

3 出席者

(1) 介護保険運営協議会委員（17名）

竹内会長、新井副会長、石山委員、井村委員、宇井委員、遠藤委員、
柿沼委員、志村委員、出口委員、寺澤委員、徳山委員
成田委員、難波委員、原田委員、平山委員、三津間委員、森委員

(2) 地域包括支援センター運営協議会委員（10名）

竹内会長、出口副会長、新井委員、朝倉委員、宇井委員、寺澤委員
出口委員、成田委員、原田委員、星川委員、三津間委員

(欠席)

大橋委員、宮下委員

(2) 事務局

長寿社会部

下浦部長

高齢者事業推進課

中村課長、山口担当課長、横山課長補佐

高齢者在宅サービス課

小林係長、小林職員

介護保険課

菊川課長、村上課長補佐、関係長、泉主任
佐藤職員

地域ケア推進室

鹿島室長、久々津担当課長、鈴木担当課長
小田担当課長、中村係長、渡邊主任

保健医療政策部（健康増進）丹野担当課長

4 傍聴者 0名

5 議題

(1) 第8期計画の進捗管理について

(2) 令和4年度川崎市高齢者実態調査の実施について

(3) 地域密着型サービス等部会について

(4) 令和3年度の介護保険の執行状況の報告について

(5) 地域包括支援センター運営協議会での調査審議事項について

6 主な発言内容

(5) 地域包括支援センター運営協議会での調査審議事項について

宇井委員	課題整理について伺いますが、地域包括支援センターの課題、市レベルの課題について、情報共有ができているのか。また、地域改題の吸い上げや、施策の方向性を適切に示しているのか伺いたい。
小田担当課長	この表は、地域包括支援センターからの報告をまとめ、市レベルに整理したものです。この市レベルに整理しました課題と取組の方向性につきましては、区協議会、連絡協議会を通して、お伝えしております。
成田委員	別紙3の地域包括ケアシステム連絡協議会ワーキンググループと地域包括支援センター運営協議会が一体で行っている点についてですが、同ワーキンググループで検討された課題に対し、地域包括支援センターが対応するので、地域包括支援センターと一体で行うこととしたとの理解でよいのでしょうか。
久々津担当課長	ワーキンググループは、具体的な連携・課題解決に向けた活動をするため、地域包括ケアシステム連絡協議会の参画団体の皆様のご意見に基づき発足したものです。同ワーキンググループでは、別紙3の3にあります課題に対し、企業として実施すべき支援とその方法について議論しておりまして、地域包括支援センターとは、これら議論した内容のうち、互いに関係が深いものについて共有を図っているものです。 なお、同ワーキンググループの議論に地域包括支援センターが積極的に参加するものではないことを申し添えておきます。
成田委員	同ワーキンググループは、更に他の課題に向けても事例をもとに行動されるとの理解でよいのでしょうか。
久々津担当課長	議論する内容は、参画団体の提案によるものとしておりますので、そのとおりです。

原田委員	<p>別紙1の高齢者の権利擁護の強化についてですが、通報件数が増加する一方で、受付やチームとして検討など体制整備が十分に進んでいないように感じますが、行政として研修計画を含めた今後の取組の方向性について伺いたい。</p>
鈴木担当課長	<p>研修につきましては、地域包括支援センター職員や行政職員を対象としまして、事例を用いたグループワーク形式で実施しています。また、現在の取組に記載しましたとおり、令和3年度に高齢者虐待対応マニュアルを改定し、対応スキルの平準化を目的としましたリスクアセスメントシートの改定を行いました。</p>
三津間委員	<p>別紙3の4についてですが、介護離職防止等をテーマとしたリーフレットの発行とありますが、内容と活用イメージについて伺いたい。</p>
久々津担当課長	<p>介護離職防止等をテーマとしたリーフレットの内容につきましては、既に家族等が介護を要することになったものではなく、事前の備えとして家族や親族の介護、相談窓口のアクセス方法等を中心に整理を進めています。</p> <p>配布する対象者につきましては、参画団体に働く社員の方や同団体と関係がある顧客からはじめまして、その後、関係団体等への広げることを考えています。</p>
竹内会長	<p>介護離職防止等の問題は、相談できない環境、社会の風潮であり、男性の育児休暇を例にすると、制度の周知に比べ、取得率は進んでいないのが現状ですので、この介護離職防止等の問題につきましても、リーフレット配布などの制度周知で終わらず社会全体の考えや行動の変化を促す取組を、試行錯誤しながら、効果的に進めていっていただきたいと思っております。</p>